

CAMPUS NOW

国立高専機構 新居浜高専 校報

No.218 2017. 1



➤ Hondaエコマイレージ チャレンジ2016全国大会に機械工学科の2チームが出場しました。

10月1日(土)、2日(日)、Hondaエコ マイレージ チャレンジ 全国大会2016 第36回 全国大会(於:ツインリンクもてぎ、栃木県)に、本校機械工学科の2つのチーム(学生16名)が参加しました。この大会は、1リットルのガソリンで何km走行できるかという燃費を競う競技です。1チームは、一人乗りで、大学・短大・高専・専門学校生クラスに、もう1チームは、二人乗りクラスにエントリーしました。

一人乗りクラスは、前年に引き続き2回目の参加で、前年の大会を経験した高学年生を中心としたメンバーでチームを構成しました。昨年の記録(193.825km/L)を更新することを目標に、設計・製作段階からチームマネジメント力を発揮し、今大会においても学生だけの運営ですべての検査・行程をクリアし、見事、完走することができました。

二人乗りクラスは、女子学生を中心にチームを構成し、ドライバー2名も女子学生が担当しました。二人乗りのため総重量は重くなり、車体構造、加速や操縦性能、ブレーキ試験などに苦しみましたが、何とか決勝のスタートラインにたどり着くことができました。

2台とも、秋空の下で軽快なエンジン音を響かせながら、気持ちよく規定の周回数を重ねることができました。

大会の結果は以下の通りです。タイムオーバーという痛恨のミスもありましたが、安全走行かつ燃費向上の成果が得られたことは大きな自信となりました。

今後も、今大会で得た経験を活かし、燃費1,000km/Lを目指して、エコランへの挑戦は続きます。

【公式結果】

・大学・短大・高専・専門学校生クラス

燃費:213.365km/L 順位:45位(77チーム中、完走47チーム)

・二人乗りクラス

燃費:237.644km/L 順位:約20秒のタイムオーバーのため順位なし



➤ 職場一斉巡視を実施しました。

全国労働衛生週間(10月1日~7日)にあわせ、10月の毎水曜日、4回にわたって教職員の健康確保と快適な職場環境形成のため、安全衛生委員会委員長、衛生管理者及び産業医を中心に職場一斉巡視を行いました。



実施内容は、主な建物の教員室、実験室等の室内及び廊下等の共用スペースについて適切な環境が確保されているかを確認しました。

今回の巡視における指摘事項については、今後改善していくこととしております。

➤ **メンタルヘルスに関する授業を開催しました。**

10月5日(水)、愛媛県西条保健所健康増進課の真木 瑞穂 氏と田内 睦 氏、及び新居浜市・西条市の保健センターの職員2名をお迎えし、本校1年3組の学生を対象として、「こころのスキルアップ教育」を実施しました。今後1年生全クラスに順次実施していく予定です。

この授業は、本校学生相談室と愛媛県西条保健所が連携して企画したもので、「若者のメンタルヘルス支援対策事業」として本校がモデル校となり、平成27年度から実施しております。学生と教職員に認知行動療法の基本を学んでもらい、感情のセルフコントロール力を高め、心の健康づくりを図ることを目的としています。

授業は、ある事例からどう感じたかを分析することから始まり、学生も積極的に参加している様子でした。笑顔になる場面も多くあり、心の健康づくりについて学ぶ、たいへん貴重な機会となりました。



➤ **新居浜市女性活躍等推進事業所に認証されました。**

10月7日(金)、新居浜市が実施している女性活躍等推進事業所認証制度において、本校は「新居浜市女性活躍等推進事業所」として認証され、同日、迫原校長に認証書が交付されました。

この制度は、市が女性活躍等に向けた自主的な活動に積極的に取り組む事業所・団体等からの申請に基づき、各種要件を満たす事業所・団体等を認証し、活動を支援するものです。また、認証書交付の様子は、新居浜市のウェブサイトにおいても紹介されています。



認証書の宣言内容として、本校は、「すべての個人が、互いに尊重し合い、性別にかかわらず、あらゆる業務に参画する機会を対等に保有する職場を目指し、また、教育研究機関として、男女共同参画社会を推進する人材を育成します。」と宣言し、今後も女性が活躍する場を積極的に設けていきたいと考えております。

➤ **奇術部が全国お手玉遊びの祭典で大活躍しました。**

10月1日(土)、2日(日)にあかがねミュージアムにおいて「全国お手玉遊びの祭典」が開催され、本校奇術部が屋内ステージのイベントスタッフ、個人戦競技の審判スタッフとして運営に参加しました。

奇術部は、平成26年度に日本のお手玉の会の69番目の支部となり、新居浜市内でお手玉教室等の指導スタッフを務め、お手玉の普及活動に取り組んできました。その実績と活力が認められて、本イベントにおいては、サブ会場である屋内ステージのイベントと運営を全て



任されることになりました。全国から来たお手玉の会会員や愛好者には大好評で、開催期間を通して楽しんでいただきました。2日の午後からは、本校ダンス愛好会も運営スタッフとして加わり、イベントの合間に演技を披露しました。

個人戦競技では、競技審判部副部長の生物応用化学科4年 石川 夢子さんを中心に統率のとれた動きをし、実行委員の方々からお褒めのお言葉をいただきました。また、競技には奇術部からボールジャグリングの得意な以下の4名が選手として出場し、全員が入賞するという素晴らしい成績を挙げました。

「両手4個ゆり」の部

優勝 豊田 聖(環境材料工学科3年)

準優勝 廣木 陸也(電子制御工学科1年)

「両手投げ3個ゆり(ジャグリング)」の部

優勝 鈴木 祐大(電気情報工学科2年)

準優勝 越智 恵介(生物応用化学科4年)

➤ シニアインターンシップ報告会を実施しました。



10月7日(金)、シニア・インターンシップ報告会を実施しました。

夏季休業中にシニア・インターンシップ実習に参加した専攻科1年生21名が、各派遣先での実習についてパネルを使って発表を行いました。発表者は、実習で取り組んだことや学んだことなどを発表し、会場を訪れた多くの学生や教員が、質問をするなどして熱心に発表に聞き入っていました。中には本科生の姿もあり、専攻科の高度な学習内容に触れる貴重な時間となりました。

今回のシニア・インターンシップで得た成果により、各自の目指す技術者像がより明確になったようです。

➤ 平成28年度学生表彰式並びに定期学生大会を実施しました。

10月3日(月)、平成28年度学生表彰式を実施しました。本校では、課外活動に卓越した成果を収め本校の名誉を高めた者及び学生の模範として推奨できる行為または功労等のあった者が表彰されます。

今回は、全国高専弓道大会準優勝や優良青少年県知事賞を受賞した者、資格等を取得した学生らがそれぞれ表彰されました。

その後、定期学生大会を行い、学生会による会計報告等のほか、Honda エコ マイレージ チャレンジ 2016 出場報告、高専ロボットコンテスト、高専プログラミングコンテスト、高専デザインコンテスト参加者の激励会を開き、参加者らを大いに力づけました。



➤ **平成28年度外国人留学生研修旅行を実施しました。**

留学生に日本の文化や歴史を学んでもらうとともに、留学生と留学生チューター同士の交流を活発にすることを目的として、10月8日(土)・9日(日)の2日間、関西方面への研修旅行を実施しました。留学生5名とそのチューター4名が参加し、日本の伝統的文化や歴史的建造物等を巡ることで、より一層理解を深めました。



参加者一行は、初日に開館したばかりの京都鉄道博物館、豊臣秀吉の正室ねねが建立した高台寺にてお抹茶をいただきました。その後散策し、清水寺を訪れました。2日目は東映太秦映画村、インスタントラーメン発明記念館で戦後日本のイノベーションを学んだほか、世界遺産姫路城を訪れました。天候が心配される中ではありましたが、幸いにも見学中に雨が降ることはなく、秋空のもと、研修旅行を実施することができました。

留学生は日本語の授業等を通じて日本文化を学んでいますが、実際に訪れ、体験・見学することで理解がさらに深まった研修旅行となりました。

➤ **授業参観を開催しました。**

10月22日(土)、授業参観を開催しました。当日は、保護者等226名(受付人数)が来校され、授業や実習の様子を自由に参観されました。また、学寮保護者連絡会や、希望者には学級担任等との個別懇談も実施しました。

アンケートで寄せられたご意見等は、今後の学校運営、授業改善に活用させていただきます。



➤ **高専ロボコン2016全国大会に出場します！(14年ぶり快挙)**



10月30日(日)、本校が担当校となり「アイデア対決・全国高等専門学校ロボットコンテスト2016四国地区大会」が開催され、新居浜高専Bチーム(ロボット名:しまなみ海銅)が、見事、高専ロボコン2016全国大会に出場することが決定しました。四国地区大会の結果は惜しくも決勝で香川高専高松キャンパスAチームに敗れ、準優勝となりましたが、本校からの全国大会出場は2002年の出場以来で、14年ぶりの快挙となります。

また、新居浜高専Aチーム(ロボット名: giraffe)は第1回戦で優勝校の香川高専高松キャンパスAチームと対戦し、悔しくも敗れてしまいましたが、デザイン賞及び田中貴金属グループの特別賞を受賞しました。

なお、11月20日(日)に東京都墨田区の国技館において開催された全国大会の結果は、後述のとおりです。



➤ 外国人留学生護身術講習を実施しました。



11月1日(火)、防犯対策の一環として、犯罪被害に遭遇した際の対応について学ぶ、新居浜警察署主催の護身術講習を本校で開催し、留学生5名が参加しました。

講習は護身術の構えや、実際に腕や胸ぐらを捕まれた際の対応について実技指導があり、留学生だけでなく、教職員も講師の説明に聞き入っていました。講習は、真剣な中にも和やかな雰囲気が進み、留学生らは楽しみながら講習を受講していました。

➤ 第13回留学生日本語スピーチコンテスト in 愛媛2016に参加しました。

10月30日(日)、第13回留学生日本語スピーチコンテスト in 愛媛2016(主催:愛媛県留学生等交流推進会議)が、南海放送本町会館テルスターホールで開催され、愛媛県内の留学生18名が参加し、予選会と決勝大会に臨みました。

本校からは、生物応用化学科4年のアンディカさん(インドネシア出身)が参加し、12名の予選会通過者に選ばれ、決勝大会に進出しました。アンディカさんは「冒険」と題してプレゼンテーションを行い、自身の留学経験から、失敗を恐れず何事にも挑戦することの大切さを発表しました。

審査の結果、アンディカさんは、惜しくも賞を逃しましたが、県内の留学生との交流を楽しむことができた様子でした。



➤ 高校化学グランドコンテストでダブル受賞しました。



11月5日(土)、6日(日)、大阪市立大学杉本キャンパスで開催された「第13回高校化学グランドコンテスト」(大阪市立大学、読売新聞大阪本社主催)において、生物応用化学科3年の馬越千晶さん、佐々木優月さんが「竹炭を用いた有害物質の除去装置の開発ー安心・安全な生活空間の確保ー」について研究成果を英語で発表し、金賞及びパナソニック賞をダブル受賞しました。

このコンテストは、高校生や高専生(3年生まで)の学習研究活動を支援し、楽しみながら科学的な想像力を培い、将来、科学分野で活躍できる人材を育成することを目的として開催され、前回に続き、台湾から2校、シンガポールから1校が参加する国際大会となりました。

馬越さんと佐々木さんは6月頃から本コンテスト応募に向け準備を始め、指導教員の桑田茂樹教授、中山享教授の熱心な指導のもと、夏期休業中も試行錯誤を重ね、賞を手に入れました。今後はこのアイデアを応用して実用化を目指し、更なる研究に向けて意欲を出していました。

➤ **防災訓練を実施しました。**

11月18日(金)、地震による火災発生を想定した防災訓練を行い、全学生・教職員が参加し、防災意識を高めました。

一次訓練では、地震発生への初期対応、引き続き発生した火災への初期対応、消防署等への連絡及び避難場所への避難等の訓練を行い、緊急時における危機管理体制を確認しました。

二次訓練では、学生を対象に、新居浜北消防署員指導の下、消火器を用いた「消火訓練」及び火災発生時の煙による視界の悪さを体験する「煙体験」を実施しました。「煙体験」では、参加者らは視界の悪さを体験し、腰を低くして歩くこと等を消防署員から教わりました。

また、消火栓使用講習会も併せて実施し、参加した教職員は説明を受けた後、実際に放水を体験し、火災に備えた実習を行いました。



➤ **高専フォーラムのポスターセッションで本校教員が表彰されました。**



8月24日(水)～26日(金)の3日間、岡山大学津山キャンパスにおいて、平成28年度全国高専フォーラム「社会とつながり～グローバルに発進」が開催され、本校環境材料工学科の松英達也教授、平澤英之准教授、生物応用化学科の西井靖博准教授の3名が、教育研究活動を発表するポスターセッションにおいて特に優秀であったと認められ、表彰されました。なお、全国の高専等からこのポスターセッションに参加した81名のうち13名が表彰され、そのうち3名が本校からの受賞者となります。

また、上記の3名のほか、電子制御工学科の松友真哉准教授、数理科の長尾桂子講師もこのポスターセッションに参加しました。本校参加者のポスターセッションのタイトルは以下のとおりです。

○環境材料工学科

松英達也 教授

「地域産業遺産に関する技術の再現とアクティブラーニングへの活用」

平澤英之 准教授

「創成実習科目における廃棄自転車を再生利用した水力発電装置の製作」

○生物応用化学科

西井靖博 准教授

「地域連携教育としての新しい体験型教育に関する研究報告」

○電子制御工学科

松友真哉 准教授

「可視化を活用した教育・研究・社会貢献の取り組み」

○数理科

長尾桂子 講師

「専門基礎の理系科目におけるアクティブ・ラーニングの実践例と課題」

➤ **高専ロボコン2016全国大会でベスト8となりました。**

11月20日(日)、東京都墨田区の国技館において「アイデア対決・全国高等専門学校ロボットコンテスト2016全国大会」が開催され、本校からは、四国地区大会において準優勝した新居浜高専Bチーム(ロボット名:しまなみ海銅)が会場に出場し、結果、全国ベスト8まで残りました。この大会には、全国から25チームが会場に出ており、そのなかでベスト8まで残ったことは、素晴らしい成績と言えます。

本校チームは、地区大会で全国3位の高さとなる「砦」を築いたことからシードを獲得しました。2回戦は、小山高専(ロボット名:宇都宮キャッツ)と対戦し、見事勝利しました。3回戦では、明石高専(ロボット名:あさごん)と対戦し、激戦の末惜しくも敗れましたが、結果、全国ベスト8まで残る成績を挙げました。

この大会の様子はNHK総合テレビで12月23日(金・祝)午前10:05~11:50に放映されました。



➤ **専攻科生が学会の講演会で優秀講演賞を受賞しました。**

2016年11月19日(土)、徳島大学常三島キャンパスで開催された平成28年度 SICE(計測自動制御学会)四国支部学術講演会において、専攻科電子工学専攻2年 玉田 将太さん(指導教員:電子制御工学科 柏尾 知明 助教)が、「農作物の遠隔監視システムの開発」について発表し、優秀講演賞を受賞しました。



計測自動制御学会四国支部学術講演会では、「計測」と「制御」をキーワードとして、毎年各大学や高専、企業から多くの学生や研究者、技術者が発表し、今年も57件の発表がありました。本校からは玉田さんのほか、電子制御工学科5年 山之口 智也さんが「サポートベクターマシンを用いたアクセル操作の予測」(同指導教員)について発表を行いました。

玉田さんは当日参加した聴講者の投票によって優秀講演賞に選出され、後日 WEB サイト上で受賞が発表されました。

➤ **平成28年度第2回ブックハンティングを実施しました。**

12月3日(土)、宮脇書店総本店(高松市)にて平成28年度第2回ブックハンティングを実施しました。

ブックハンティングは、学生自身が希望する書籍を選び、購入することにより図書館利用を促進し、本に親しむことを目的に、年2回実施しています。

今回は16名(学生13名、教員3名)が参加し、専門書や小説・文芸、資格・試験などの書籍を熱心に探索し、図書館に配架する書籍の選書を行いました。

なお、購入書籍は12月末に配架されました。



➤ **平成28年度 技術振興協力会 役員会、定期総会及びSTEP事業紹介を開催しました。**

12月8日(木)に、新居浜高専 技術振興協力会「愛テクフォーラム」の平成28年度役員会・定期総会を開催しました。「愛テクフォーラム」は、現在、特別会員16団体、法人会員41社、個人会員43名、本校学生会員10名により組織され、本校と地域社会・産業界との連携・交流を積極的に推進することにより、地域産業の発展など地域振興に寄与するとともに、本校の教育研究の振興を図ることを目的に活動しています。



総会では、丹一志会長(住友化学株式会社常務執行役員 愛媛工場長)、迫原修治校長の挨拶の後、平成27年度の事業・決算報告及び監査報告があり、引き続いて、平成28年度の事業計画及び予算案が承認されました。

総会終了後には、一般財団法人 四国産業・技術振興センター(STEP)総務企画部 部長 千葉幸弘 氏による事業紹介が行われました。

➤ **留学生母国紹介講演会を開催しました。**

本校では、在籍する留学生(6名)と彼らの母国を全校学生、教職員、地域の方に紹介し、相互に理解を深めるきっかけとなるよう、12月5日(月)から9日(金)の間を「留学生ウィーク」と位置づけ、留学生が作成した母国紹介パネルの展示などを行いました。

この催しの一つとして、12月9日(金)に留学生母国紹介講演会を開催し、当日会場には、留学生支援でお世話になっている関係諸団体の方や学生、教職員など約30名の参加がありました。

講演会では、モンゴル出身で生物応用化学科5年のアマラーさんが、日本語で母国の地理、生活風土、文化、言葉などについて、ビデオを使ってプレゼンテーションを行いました。その後質疑応答も活発に行われ、たいへん盛況な講演会となりました。



➤ **ひらめき☆ときめきサイエンスプログラムを実施しました。**



12月17日(土)、本校と独立行政法人日本学術振興会との共催で、「ひらめき☆ときめきサイエンス～ようこそ高専の研究室へ～KAKENHI」(研究成果の社会還元・普及事業)として、中学生を対象に「体験！！コンピュータを利用した可視化の世界 — みえない世界を見る、観る、視る—」プログラムを実施しました。

この事業は、科学研究費助成事業(KAKENHI)によって得られた研究成果をもとに、子どもたちに科学への興味・関心を深めてもらおうと実施したもので、電子制御工学科の松友真哉准教授と松木剛志助教・田

中大介助教が講師を務めました。四国地区高専では唯一の開催であり、県内の中学生13名が参加しました。

午前中は、科研費の助成を受けて本校で開発された「拡張現実感技術を利用した磁界観察ソフト」を使用し、パソコンのディスプレイやヘッドマウントディスプレイを用いて、空間に分布する磁力線を立体的に観察しました。午後からは、画像認識のプログラムを自分たちで作成するなどして、高専で行われている研究の一端を体験しました。

プログラムの最後には、「未来博士号」(修了証書)が授与されました。参加者からは、「普段学べないことを知ることができた」、「科学に興味を持つことが出来ました」などの感想が寄せられました。

➤ **新居浜高専一産総研 交流会を開催しました。**

12月15日(木)、視聴覚教室にて、新居浜高専一産総研交流会を開催しました。

この交流会は、国立研究開発法人 産業技術総合研究所の吉田勝氏(材料・化学領域 機能化学研究部門副部門長・バイオベース材料化学グループ長)を講師にお迎えして開催しました。

『産業技術総合研究所概要と機能化学品開発について:光に応答する新しい機能材料』と題する講演で、産総研が果たしている役割や、ご自身の留学経験、現在取り組んでいる研究等について説明がありました。

この講演会には、学生・教職員及び地元企業の方など、約100名が出席し、大変有意義な講演会となりました。



➤ **科学技術特別シンポジウムを開催しました。**

12月16日(金)、第一会議室にて、科学技術特別シンポジウムを開催しました。

これは本校学生をはじめ一般の方に科学技術に親しむ多様な機会を提供し、科学技術に対する関心と理解を深めて、科学技術の振興を図るものです。

今回は、三菱電機株式会社 通信情報システム部 衛星通信プロジェクト部長の土谷牧夫氏を講師にお迎えして開催しました。

『移動体向け衛星ブロードバンドサービスの動向』と題する講演で、国内外における船舶、航空機向けの衛星通信サービスの現状や、それを支える技術についての説明がありました。この講演会には、学生・教職員及び地元企業の方などが出席し、大変有意義な講演会となりました。



➤ **学生向け知的財産セミナー(上級)を開催しました。**

12月16日(金)、本校第一会議室において、弁理士の先生2名をお迎えして「高専学生向け知的財産セミナー」を開催し、生物応用化学科5年の学生39名と教員3名が参加しました。

このセミナーは、高専機構と連携・協力の推進に関する協定を締結した日本弁理士会のご協力のもと平成25年度から始まったもので、本校においては初年度には初級レベルを、昨年度は中級レベルを開催しております。

上級レベルの今回は、「特許権の取得から特許権侵害を巡る攻防まで」と題して、まず初めに身近な特許訴訟事件について紹介及び解説があった後、電子紙芝居「おにぎりパック特許権物語」と題して、特許権に関する争いについての講義がありました。

講義中、興味を引く電子紙芝居形式ということもあり、学生は講師の話に聴き入り、講義終了後の質疑応答は30分近くにも及び、有意義なセミナーになりました。



➤ 学生がエッセイコンテストで最優秀賞をW受賞しました。



文教大学50周年記念事業の一環として開催されたエッセイコンテスト及び多摩大学の第8回「私の志」小論文コンテストにおいて、本校生物応用化学科3年の日野 鈴香さんが最優秀賞を受賞しました。

文教大学のコンテストは全国の高校生を対象に、「私の記念日～My Anniversary～」をテーマとして、家族をはじめ、学校の友人や地域の人たちとの関わり、ボランティア活動や外国の方々との交流などの体験、日常の何気ない一瞬から心に残ったことをまとめた

エッセイを応募したもので、日野さんの作品(タイトル:「殻のイヤホン」)は、応募数2,230の作品のなかから見事最優秀賞に選ばれました。また、多摩大学の小論文コンテストも全国の高校生を対象としており、社会活動を通じて自己実現する志をまとめた小論文を応募したもので、700を超える応募数のなかから、日野さんの作品(タイトル:「紙に乗せて」)が最優秀賞に選ばれました。

日野さんは上記コンテスト以外にも、学校法人日本体育大学の創立125周年記念事業「作文」においても高校生の部で佳作に選ばれたほか、一般社団法人日本勤労青少年団体協議会の「若者を考えるつどい2016」においても佳作に選ばれ、表彰されました。



➤ 平成29年校長年頭挨拶

1月4日(水)、迫原校長が年頭のあいさつを行いました。

教職員を前に、「昨年は世界的に災害等予期せぬ出来事が多くありましたが、本校においては、学生及び教員の各種受賞や高専ロボコンの全国大会出場等たいへん喜ばしいことが重なり、追い風とな



りました。私が赴任した平成27年度から、現状の様々な課題を解決すべく取り組んで参りましたが、今後もこの課題解決を加速させ、我々の進むべき道を明確にし、さらなる変化を遂げていくことが重要となります。教職員の皆様のご協力をお願いいたします。」と、力強く年頭のあいさつを行いました。

新年にあたり、教職員一同、気持ちを新たにに取り組んでまいります。

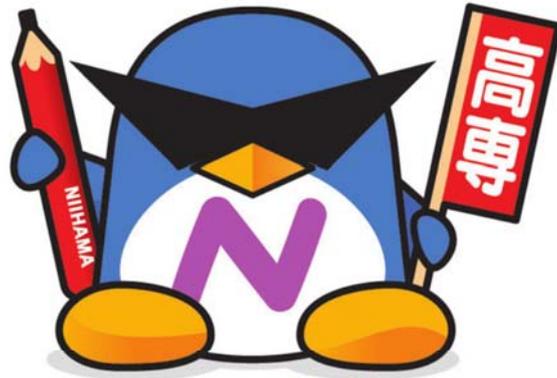
➤ 学生がKEKウィンター・サイエンスキャンプに参加しました。

12月25日から28日の間、高エネルギー加速器研究機構つくばキャンパスにおいて行われたKEKウィンター・サイエンスキャンプに、本校機械工学科2年の野島里美さんが参加しました。このキャンプは同機構が主催となり、加速器科学技術支援事業として実施したもので、高校生・高専生等を対象とした科学技術体験合宿プログラムです。野島さんは、全国の応募者の中から書類選考により選ばれた24名のうちの1人として参加しました。



今回のテーマは、素粒子、光の回折、信号の伝送、放射線の4つで、各テーマ毎に6人ずつのグループに別れ、そのなかで野島さんは放射線のグループに属し、放射線が物体をどの程度透過するのかについての実験及び発表を行いました。

野島さんは、「このプログラムに参加したことで視野が大きく広がり、意見交換しながら実験を進めていくことがとても楽しかったです。発表の場では、どう表現すれば相手に正確な内容を伝えられるかを学びました。このプログラムでは知識よりも、全国から参加した高校生と実験することや、それを自分たちで発表できるようまとめることに重要性を感じました。また、知りたい、面白いと感じたことを突き詰めていく楽しさを体感できました。」と感想を述べました。



技術で羽ばたけ
世界へ未来へ
～新居浜高専～



国立高専機構

新居浜工業高等専門学校

National Institute of Technology, Niihama College

〒792-8580 愛媛県新居浜市八雲町7番1号
TEL (0897)37-7700 FAX (0897)37-7842